

学習状況診断票(国語) 小学校 第5学年

5年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
話すこと・聞くこと	一	一	1	話す人が伝えようとしている内容を正しく聞くことができる。				
		二	2	わかりやすく伝えるために、どのような話し方の工夫がされているかを正しく聞くことができる。				
		三	3	話し合いで発言されている内容を正しく聞くことができる。				
		四	4	話し合いの進め方を正しく聞くことができる。				
	二	五	5	自分の考えをわかりやすく伝えるために、意見と理由をはっきりさせて、決められた字数で書くことができる。				
書くこと	二	六	6	内容が相手によく伝わるように、ふさわしい言葉を選ぶことができる。				
読むこと	三	一	7	主人公の気持ちを想像しながら読むことができる。				
		二	8	主人公の気持ちの変化に注意しながら読むことができる。				
		九	9					
	三	10	10	表現の特色に注意しながら読むことができる。				
書くこと	四	11	11	主人公の行動や気持ちをもとに、主人公に対して伝えたいことを決められた字数で書くことができる。				
言語事項	四	(1)	12	5年生までに習った漢字を正しく読むことができる。				
		(2)	13					
		(3)	14					
		(4)	15					
		(5)	16					
	五	(1)	17	4年生までに習った漢字を正しく書くことができる。				
		(2)	18					
		(3)	19					
		(4)	20					
		(5)	21					
	六	一	22	出てくる言葉の順に注意して、国語辞典を利用することができる。				
二		23						
					/4	/3	/4	/12

今後の学習に向けて *自分ががんばりたいところに○を付けましょう。

聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> 「どのような内容を、どのような順序で話しているかを考えながら聞く」「自分の考えと、どこが同じで、どこが違うかに注意して聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について、復習しましょう。 国語の授業で学習した大切な聞き方を、授業中の先生や友だちの話や聞きながら、日々の生活にも生かしましょう。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、どのような考えを書くのかをはっきりさせましょう。その上で、自分の考えをわかりやすく伝えるために、自分の意見とその理由を別々の文で書くようにしましょう。 一度書いた文章を、読む人の気持ちになって読み返し、伝わりにくいところを書き直すことも大切です。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読むときには、まず、大まかな話の流れ(あらすじ)をつかみましょ。そして、場面の様子や気持ちを表す言葉に注意しながら、登場人物がどのような気持ちで話したり行動したりしているのかを想像しながら読み進めていくことが大切です。 国語の授業で、自分の考えを進んで発表したり、友だちの考えと比べて聞いたりしながら、自分の考えを深めるようにしましょう。
言語事項	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、国語の時間だけでなく、他の教科の授業や毎日の生活の中で、読み方がわからない場合は確かめたり、学習した漢字を使って書いたりするように心がけることが大切です。 意味のわからない言葉は、国語辞典を使って調べる習慣をつけましょ。